

5月30日(土)・大会第1日目

時刻	第1会場 [第6講義室]	第2会場 [大合併講義室]	第3会場 [第5講義室]
9:50-10:50	<p>報告者: 神武 庸四郎            論題: 制御工学から見た経済学: カレツキからフィリップスへ</p> <p>司会者: 荒川 章義(立教大学)            討論者: 川俣 雅弘(慶應義塾大学)</p>	<p>報告者: 牧野 邦昭(摂南大学)            論題: 陸軍秋丸機関による経済研究の結論</p> <p>司会者: 西岡 幹雄(同志社大学)            討論者: 荒川 憲一(東京国際大学・非)</p>	<p>報告者: 村井 明彦(関西大学・非)            論題: グリーンスパンの資本理論と金融政策</p> <p>司会者: 服部 茂幸(福井県立大学)            討論者: 原谷 直樹(群馬県立女子大学)</p>
11:00-12:00	<p>報告者: 金子 創(慶應義塾大学)            論題: ベティとカンティロンー前古典派における社会会計と階級ー</p> <p>司会者: 伊藤 誠一郎(市立大短大)            討論者: 大倉 正雄(拓殖大学)</p>	<p>報告者: 西 淳(三重大学・非)            論題: 生存基金Subsistence Fundと資本Capitalについての一考察</p> <p>司会者: 佐々木 憲介(北海道大学)            討論者: 池田 幸弘(慶應義塾大学)</p>	<p>Masazumi Wakatabe (Waseda University)            Keynesianism in Japan</p> <p>Chair: Motohiro Okada (Konan University)            Discussant: Kouki Hirose (Fukui Prefectural University)</p>
12:00-12:50	<b>昼食(会員控室・第3講義室・第4講義室)</b>		
12:50-13:50	<b>総会(開催校挨拶) [大合併講義室]</b>		
14:00-15:00	<p>報告者: 吉本 惣一(横浜国立大学)            論題: 19世紀フランス経済思想におけるデュルケーム</p> <p>司会者: 栗田 啓子(東京女子大学)            討論者: 森岡 邦泰(大阪商業大学)</p>	<p>報告者: 泉 慎一(中央大学・客員研究員)            論題: J. M.ケインズの倫理的基礎</p> <p>司会者: 藤原新(立教大学)            討論者: 齋藤 隆子(神戸女学院大学・非)</p>	<p>Tadashi Ohtsuki            Japanese Economists and WWII as a Turing Point: AKAMATSU Kaname during and after the War</p> <p>Chair: Yutaka Furuya (Tohoku University)            Discussant: Kiichiro Yagi (Setsunan University)</p>
15:10-16:10	<p>報告者: 新村 聡(岡山大学)            論題: アダム・スミスにおける平等と分配的正義</p> <p>司会者: 佐藤 有史(立教大学)            討論者: 堂目 卓生(大阪大学)</p>	<p>報告者: 酒井 泰弘(滋賀大学・名)            論題: ケインズとナイトー奇跡の1921年を考えるー</p> <p>司会者: 鍋島 直樹(名古屋大学)            討論者: 山崎 好裕(福岡大学)</p>	<p>Norikazu Takami (Hitotsubashi University)</p> <p><u>The Baffling New Inflation: How Cost-push Inflation Theories Influenced Policy Debate in the Late-1950s United States</u></p> <p>Chair: Daisuke Arie (Yokohama National University)            Discussant: Asahi Noguchi (Senshu University)</p>
16:20-17:20	<p>報告者: 中川 辰洋(青山学院大学)            論題: カンティヨン、ケネー、テュルゴーー18世紀フランス価値論形成史の一考察ー</p> <p>司会者: 米田 昇平(下関市立大学)            討論者: 金子 創(慶應義塾大学)</p>	<p>報告者: 佐藤 方宣(関西大学)            論題: 佐和隆光『経済学とは何だろうか』とは何だったのか</p> <p>司会者: 井上 琢智(関西学院大学)            討論者: 佐和 隆光(滋賀大学)</p>	<p>Yutaka Furuya (Tohoku University)            James Steuart on the Ancient Economy</p> <p>Chair: Hiroyuki Furuya (Tokushima Bunri University)            Discussant: Sora Sato (The University of Tokyo)</p>
17:30-18:20	<b>招待講演「経済学とは何だろうか」: 佐和 隆光(滋賀大学学長), 司会: 田中 秀夫(代表幹事)</b>		
18:30	<b>懇親会 会場: 大学会館</b>		

「4/25時点の暫定版です。最新のプログラムおよびRhodes氏の要旨については、学会ホームページ(Jshet.net)をご覧ください。」

5月31日(日)・大会第2日目

時刻	第1会場 [第6講義室]	第2会場 [大合併講義室]	第3会場 [第5講義室]
9:30-10:30	James R. Rhodes (GRIPS, Tokyo) <u>Devolution of the Fisher Equation: Rational Appreciation to Money Illusion</u>  Chair: Toichiro Asada (Chuo University)  Discussant: Yoshihiro Yamazaki (Fukuoka University)	セッション代表: 橋本 努(北海道大学) 討論者: 小峯 敦(龍谷大学)、田中 英明(滋賀大学) 大黒 弘慈(京都大学)  テーマ: 現代経済思想の根本問題—贈与と所有  報告者: 若森 みどり(大阪市立大学) <u>論題: 贈与—私たちはなぜ贈り合うのか—</u>	Maria Pia Paganelli (Trinity University, USA) <u>We are not the Center of the Universe: the Role of Astronomy in the Development of Morality in Adam Smith</u>  Chair: Gilles CAMPAGNOLO (National Center for Scientific Research and Aix-Marseilles School of Economics, France and Hokkaido University, Sapporo)  Discussant: Chikakazu Tadakoshi (Chuo University)
10:40-11:40	報告者: 石井 稔(関東学院大学) <u>論題: マカロックと機械導入の影響の考察</u>  司会者: 久保 真(関西学院大学) 討論者: 福田 進治(弘前大学)	報告者: 沖 公祐(香川大学) <u>論題: 所有—所有は豊かさをもたらすか—</u>  司会者: 橋本 努(北海道大学)	Gilles CAMPAGNOLO (National Center for Scientific Research and Aix-Marseilles School of Economics, France and Hokkaido University, Sapporo) <u>Questioning Liberalism in the History of Economic Thought between Europe and Eastern Asia</u>  Chair: Craig Freedman (University of New South Wales)  Discussant: Yusuke Yoshino (Chukyo University)
11:40-12:30	<b>昼食</b>		
12:30-13:30	報告者: 前原 正美(東洋学園大学)  <u>論題: J. S. ミルにおける&lt;&lt;公共心の体系&gt;&gt;と歴史法則: &lt;&lt;2つのStationary States&gt;&gt;論と&lt;&lt;人間的成長&gt;&gt;論との関連で</u>  司会者: 近藤 真司(大阪府立大学) 討論者: 小沢 佳史(東北大学・院)	セッション代表者: 柳田 芳伸(長崎県立大学) 討論者: 渡会 勝義(早稲田大学)  テーマ: マルサス書簡の中の知的交流  報告者: 中野 力(啓明学院中学・高校専任教諭) <u>論題: マルサス=ゴドウィン人口論争の一展開—マルサスのゴドウィン宛書簡(1798年8月20日)を中心に—</u>	Craig Freedman (University of New South Wales)  <u>A Tale of Two Cities: A Priori Assumptions and A Priori Conclusions</u>  Chair: Masazumi Wakatabe (Waseda University)  Discussant: Masanobu Sato (Kansai University)
13:40-14:40	報告者: 中西 俊夫(早稲田大学・院) <u>論題: 行動経済学と制度学派経済学—心理学的知見と経済学に導入する試みの意義と問題—</u>  司会者: 上宮 智之(大阪経済大学) 討論者: 柴田 徳太郎(東京大学)	報告者: 柳田 芳伸(長崎県立大学) <u>論題: パーネルとマルサス</u>  報告者: 荒井 智行(中央大学) <u>論題: 地金論争期におけるホーナー、ジェフリとマルサス</u>	セッション代表者: 中野 聡子(明治学院大学) 討論者: 岡田 元浩(甲南大学)、久松 太郎(神戸大学) 吉田 雅明(専修大学)  テーマ: イギリス限界革命期前後、需給均衡理論は当初からハードコアであったか?  報告者: 塩沢 由典 <u>論題: J. S. ミルはなぜ退したのか/新古典派の起源に関するインターナリストの一視点</u>
14:50-15:50	報告者: 深貝保則(横浜国立大学) <u>論題: プリテン統治の版図と性質をめぐる言説空間</u>  司会者: 服部 正治(立教大学) 討論者: 後藤 浩子(法政大学)	報告者: 真鍋 智嗣 <u>論題: チャーマーズとマルサス</u>  報告者: 山崎 好裕(福岡大学) <u>論題: ウィルモット・ホートン、ヒューウェルとマルサス</u>  司会者: 出雲 雅志(神奈川大学)	報告者: 吉井 哲(名古屋商科大学) <u>論題: J. S. ミルの需給原理に関する正しい理解—ジェンキンによる原理の曲解とマーシャルによるその継承—</u>  報告者: 中野 聡子(明治学院大学) <u>論題: ジェヴォンズ、エッジワースの研究計画とマーシャルの研究計画の相違: 近代経済学の展開の深遠な断層</u>  司会者: 本郷 亮(関西学院大学)
<b>閉会の挨拶(代表幹事)第2会場 [大合併講義室]</b>			